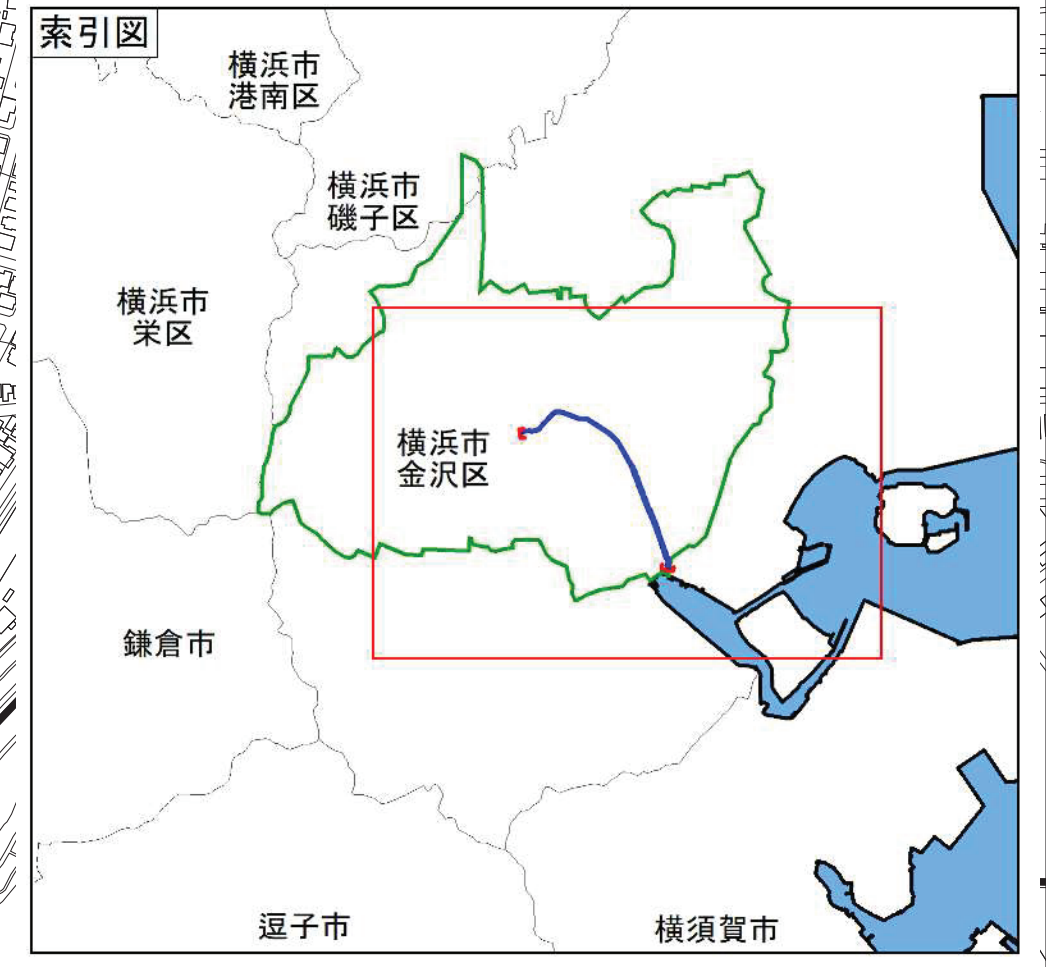
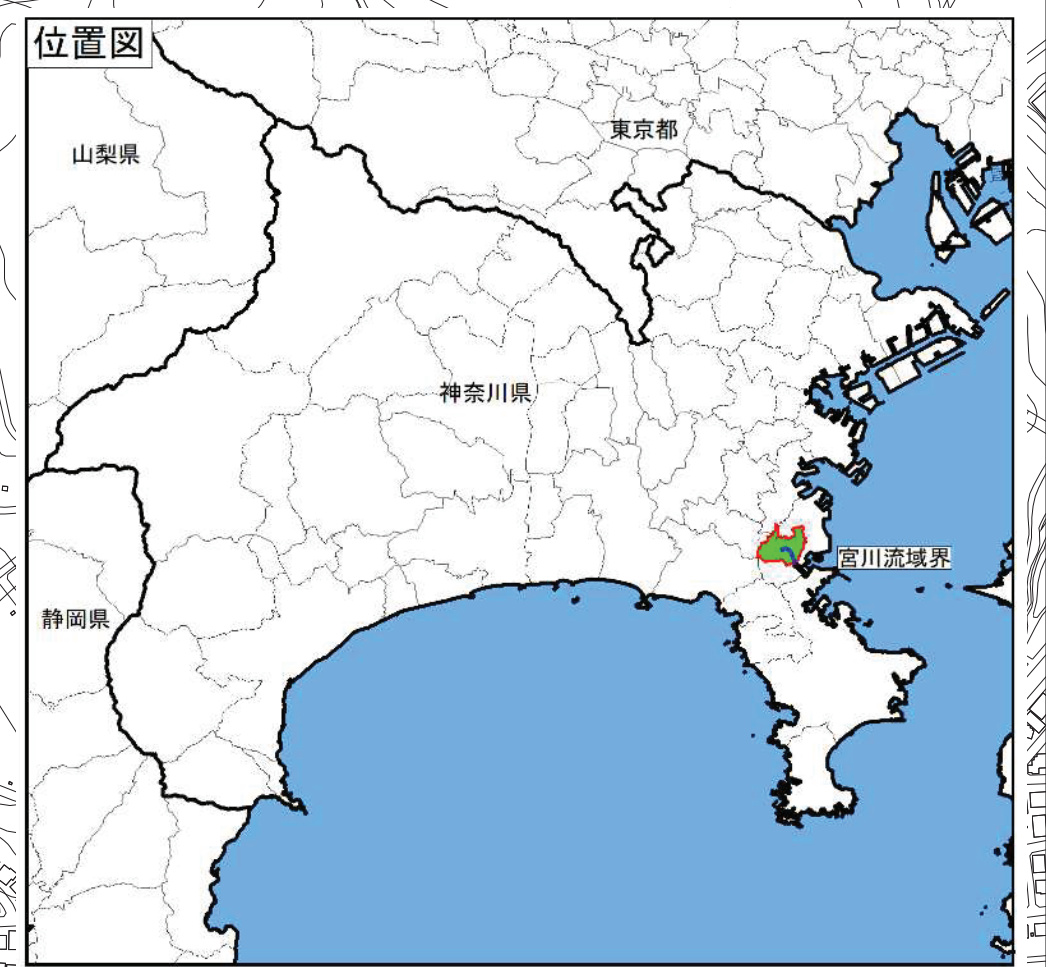
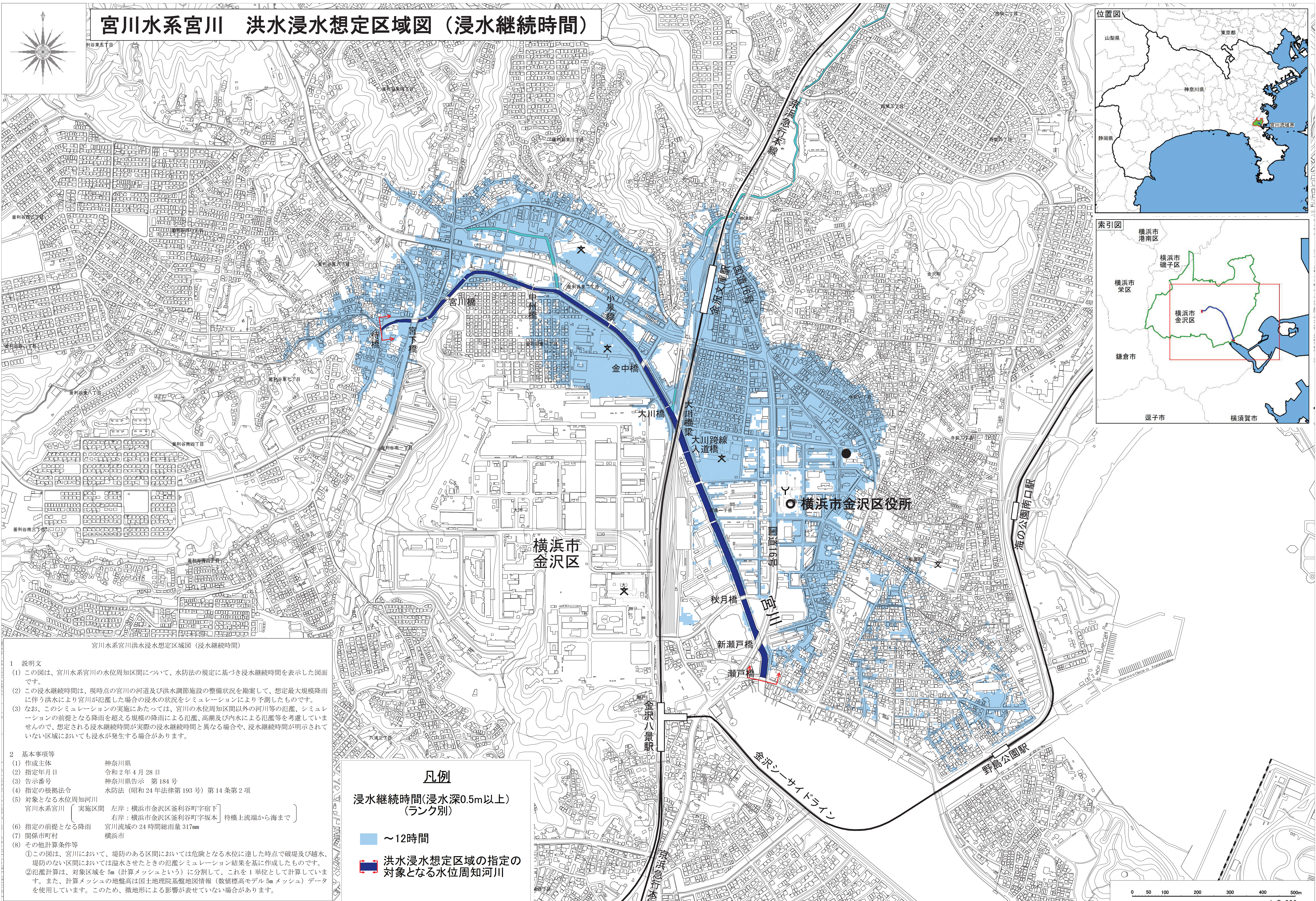


宮川水系宮川 洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）



1 説明文
(1) この図は、宮川水系宮川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
(2) この浸水継続時間は、現時点の宮川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により宮川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、宮川の水位周知区間以外の河川等の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本事項等
(1) 作成主体 神奈川県
(2) 指定年月日 令和2年4月28日
(3) 告示番号 神奈川県告示 第184号
(4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
(5) 対象となる水位周知河川 宮川水系宮川（実施区間 左岸：横浜市金沢区釜利谷町字宿下 右岸：横浜市金沢区釜利谷町字坂本） 待橋上流端から海まで）
(6) 指定の前提となる降雨 宮川流域の24時間総雨量317mm
(7) 関係市町村 横浜市
(8) その他計算条件等
①この図は、宮川において、堤防のある区間においては危険となる水位に達した時点で破堤及び越水、堤防のない区間においては溢水させたときの氾濫シミュレーション結果を基に作成したものです。
②氾濫計算は、対象区域を5m（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は国土地理院基盤地図情報（数値標高モデル5mメッシュ）データを使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

凡例

浸水継続時間(浸水深0.5m以上)
(ランク別)

- ~12時間
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

※A1出力時は1:5,000、A3出力時は1:10,000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 令元情使、第555号）